

下水道工事の紹介

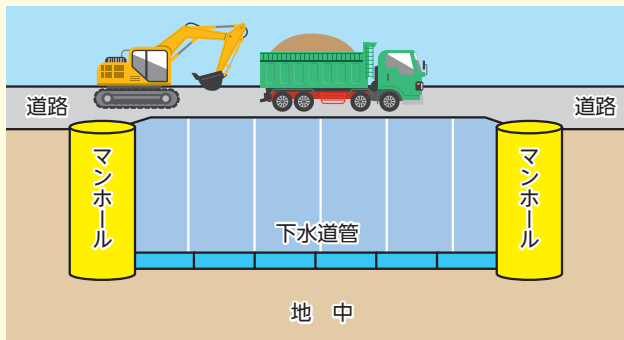
上下水道局では、公共下水道施設が未整備区域での新設工事や老朽化が確認された管きよの改築工事を実施しています。

本誌では下水道工事の工法について紹介します。

下水道工事は大きく分けて**開削工法**と**非開削工法**の2つに分かれます。

開削工法

地面を直接重機や人力で掘削して下水道管を埋設する方法です。



重機の掘削状況



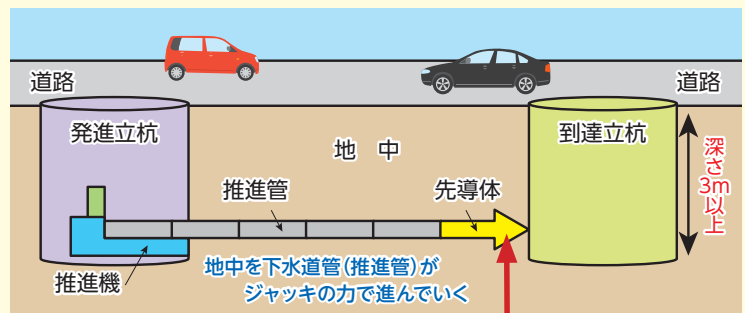
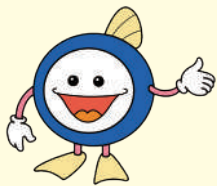
新設管の埋設状況

非開削工法

地面を直接掘削せずに下水道管などを埋設、改築する方法です。工法の種類として、推進工法、管きよ更生工法があります。

推進工法

主に地下3m以上の深さに下水道管を埋設する際に採用され、立坑と呼ばれる縦穴を築造し、推進機と呼ばれる機械を用いて油圧ジャッキの力で管を地中に推進させて計画の位置まで管を埋設する工法です。



立坑



推進機稼働状況



先導体

管きよ更生工法

老朽化した既設管の内側に新管を構築する工法で、新管同等の耐荷性能、耐震性能、流下性能等を確保することができます。

ハーゲラ川雨水管きよ更生工事



施工前



施工後

ガープ川雨水管きよ更生工事



施工前



施工後

☆非開削工法の大きなメリットの1つとして現場周辺の住民生活や道路交通への影響を少なくすることができます。

【お問い合わせ】 下水道課 TEL : 941-7808 FAX : 941-7828